

「消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子」

平成22年春季全国火災予防運動

3月1日から7日まで、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。

春は季節風の強い日が多く、市内中小河川のしゅんせつ工事や山田堰などの「川干」と重なるため、ちょっとした不注意から思わぬ大火となる恐れがあります。

放火による火災を防ぐため、家の周りに燃えやすいものを置かないように注意しま

しょう。また、春季には山菜採りなどで入山者も多くなり、たばこの投げ捨て、たき火、火入れなどの不始末で一瞬のうちに貴重な森林を焼失させることがあります。一人ひとりの心がけて山火事は防ぐことができます。

火の取り扱いは慎重に、火災の発生を防止しましょう。



3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- 高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅防火
いのちを守る
7つのポイント

※お問い合わせは、消防本部予防課（☎863-3511）まで

(9) 特別職の報酬などの状況（21年4月1日現在）

区 分	給料・報酬	期末手当	退職手当（算定方式）
市 長	772,000 円	3.05月分	772,000 × 在職年数 ÷ 460 / 100
副市長	648,000 円		648,000 × 在職年数 ÷ 340 / 100
議 長	450,000 円	3.05月分	
副議長	410,000 円		
議 員	380,000 円		



(10) 部門別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日現在）

（単位：人）

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由
		平成20年	平成21年		
一 般 行 政 部 門	議 会	4	4		
	総 務	47	49	2	業務量増加による増
	税 務	27	26	△ 1	税務管理係職員の減
	民 生	125	125		
	衛 生	29	29		
	農林水産	17	15	△ 2	業務分担の見直しによる減
	商 工	4	4		
	土 木	32	35	3	業務分担の見直し、業務量増加による増
政 部 門	小 計	285	287	2	
	教 育	53	53		
	消 防	60	59	△ 1	退職による減
会 計 部 門	小 計	113	112	△ 1	
	水 道	12	10	△ 2	業務の見直しによる減
	下 水	6	6		
	そ の 他	22	17	△ 5	地域包括支援センターの業務委託による減
	小 計	40	33	△ 7	
合 計		438 (542)	432 (542)	△ 6 (0)	

（注）1 職員数は一般職に属する職員数です。
2 （ ）内は、条例定数の合計です。

(11) 集中改革プランによる定員管理の数値目標および進ちょく状況

① 平成17年4月1日～平成22年4月1日における定員管理の数値目標

平成17年4月1日 職 員 数	平成22年4月1日 職 員 数	純 減 数	純 減 率
485 人	436 人	49 人	10.1 %

② 定員管理の数値目標の年次別進ちょく状況（実績）の概要（各年4月1日現在）

部 門	区 分	17 年 計画始期	18 年 1 年 目	19 年 2 年 目	20 年 3 年 目	21 年 4 年 目	計	（参考） 数値目標
全部門	職員数	485	470	454	438	432	—	436
	増 減		△ 15	△ 16	△ 16	△ 6	△ 53 (108.2%)	△ 49人 (100%)

（注）1 計画期間は、17年～21年の5年間です。
2 （ % ）内の数値は、数値目標に対する進ちょく率を示しています。
3 増減は、各年の欄にあっては対前年比の職員増減数を、計の欄にあっては計画1年目以降現年までの職員増減数の累計を示しています。

*市職員の給与と勤務条件などについて記載した「南国市人事行政の運営等の状況」は、南国市のホームページ（<http://www.city.nankoku.kochi.jp/sisei/>）で閲覧できます。

※お問い合わせは、総務課職員係（☎880-6551）まで

人権教育シリーズ 94

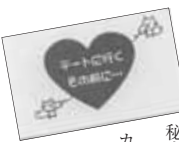
人権教育シリーズ

「デートに行くその前に…」と記された、名刺サイズのカードを頂く機会がありました。高知女子大学の学生がアイデアを出し、若者の視点で作られた「デートDV」の予防啓発カードだそうです。猫のイラスト付きでなんとなくかわいらしく、若い皆さんが抵抗なく手にしやすいうれしいものとなりました。カードの作成に携わった同大学文化学部の長妻由里子准教授によると、中高生、大学生などの若い世代でも、交際相手からのさまざまな暴力の実態があるそうです。DV（ドメスティック・バイオレンス）は夫婦間の問題として知られるようになってきましたが、若い世代にも目を向ける必要があります。

● ケータイを勝手に見る、見られる「バカッ」「ウザッ」など傷つくことを言う、言われる

カードには、このような例が示され、自己中心的な言動が「デートDV」につながる恐れがあると警告されています。束縛されるのは愛されている証拠、自分が悪いからしかられる：そんなふうにも感じている若者が少なくないとも聞きました。親密な関係ゆえ、望まぬい妊娠に至る深刻な例もあるそう

「デートに行くその前に…」



カード提供
高知県女性相談
支援センター

※お問い合わせは
人権啓発広報委員会
（☎880-6569）まで